

記者配布資料

2024年9月25日

名古屋経済記者クラブ会員各位

(同時提供：京都経済記者クラブ・大阪経済記者クラブ・横浜経済記者クラブ)

～関西周遊 NFT スタンプラリーに新たに 21 会議所が参加～
関西 2 府 5 県の全 71 商工会議所が一体で万博機運醸成活動を展開
大阪・関西万博 PR 重点期間 (2024 年 9 月～11 月)

【お問合せ先】大阪商工会議所 地域振興部 (高橋・石橋・本)
TEL: 06-6944-6323
名古屋商工会議所 総務管理部 (浅井・坂東)
TEL: 052-223-5606

- 大阪など関西 2 府 5 県に所在する全 71 商工会議所が参加する、関西商工会議所連合会「2025 年大阪・関西万博 機運醸成ワーキンググループ」(以下、WG)では、9 月 25 日から始まるパビリオン・イベント来場枠の抽選申込開始に併せて、**2024 年 9 月～11 月を大阪・関西万博 PR 重点期間と位置づけ**、WG 参加会議所全体で機運醸成活動を展開する。
- 具体的には、(1)万博 PR コーナーの設置、(2)セミナー・シンポジウム開催、(3)情報の発信強化・SNS 活用、(4)広報素材・共通 PR ツールを利用した取り組みを行う。
- 特に、(3)情報の発信強化・SNS 活用として、**新たに関西商工会議所連合会の Instagram と X を開設**するほか、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会と連携して 2024 年 4 月 12 日から実施している「**関西周遊 NFT スタンプラリー**」を拡充する。**新たに綾部、生駒、小浜、勝山、草津、紀州有田、御坊、洲本、大東、高槻、敦賀、豊中、奈良、姫路、福井、三木、宮津、守山、八尾の 19 商工会議所が加わる**ほか、9 月 18 日に国際的イベントの機運醸成に向けて大阪と包括連携協定を締結した名古屋、横浜の商工会議所も特別参加し、**全 36 商工会議所で実施**する。また、**新たに関西 MaaS 協議会とも広報連携**し、関西 MaaS アプリと関西周遊 NFT スタンプラリーのホームページで相互の情報発信を行う。
- 本 WG では、今後も関西周遊 NFT スタンプラリーの参加会議所を広げていくなど、開催地が一体となった機運醸成を強化していく。

【大阪・関西万博 PR 重点期間 取り組み概要】

(1) 万博 PR コーナーの設置

①各商工会議所の事務局内

各商工会議所の事務局内の受付やパンフレットコーナーの付近など、普段から多くの人が目にする場所に、チラシやポスター等を用いて PR コーナーを設置。

②地元イベント等

期間内に開催される地元イベント(「市民まつり」「商工まつり」等)があれば、地元行政と連携して、チラシやポスター等を用いて PR コーナーを設置。

(2) セミナー・シンポジウム開催

関西商工会議所連合会、府・県連、または近隣会議所共催での万博参加説明会や万博関連セミナーの実施・広報協力。各種会合(常議員会・委員会・部会など)での情報提供。

(3) 情報の発信強化・SNS 活用

①各商工会議所の会報誌での万博特集・万博紹介

各商工会議所の会報誌9月～11月号で「万博見どころ紹介」を掲載。素材（文章、画像、ロゴマーク等）は大阪商工会議所が博覧会協会やパビリオン等に許可を取ったものを提供。
※提供素材は、海外パビリオン、民間パビリオン、政府・自治体館、シグネチャーパビリオン、未来社会ショーケース事業の説明文章、画像、ロゴマーク等。

②各商工会議所 HP・SNS トップページの「万博仕様」化

各商工会議所 HP のトップページ、SNS のアカウントページなど、最初に目に触れる「顔」となる部分を、公式ロゴマーク、公式キャラクターなどの画像を用いて万博仕様に貼り替える。

③関西商工会議所連合会「Instagram」「x」開設による情報発信の強化

これまでも「Facebook」で情報発信してきたが、新たに「Instagram」と「x」のアカウントも開設し、従来とは異なるユーザー層に向けて情報発信する。発信内容は以下の通り。

A) 共同企画「会頭によるリレートーク」

共通のテーマ（万博への思い、万博に期待することなど）で、各商工会議所の会頭から寄せられたメッセージ動画。

B) 共同企画「ミヤクミヤクが来たよ」

ミヤクミヤクのぬいぐるみを活用し、まるでミヤクミヤクが各商工会議所の観光スポットやおすすめの視察先などに遊びに来ているような画像。

C) 各商工会議所の万博機運醸成の取り組み

各商工会議所管内の関係機関が実施する万博機運醸成の取り組みに関する動画や画像。
※A)～C)は、各商工会議所の HP、SNS などでも紹介する。

④EXPO 2025 デジタルウォレット活用「関西周遊 NFT スタンプラリー」

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の EXPO 2025 デジタルウォレットを活用し、関西各地の魅力ある観光施設等を周遊できるように情報発信する。万博1年前の2024年4月12日に Vol.1 をスタートし、300日間の6月17日に Vol.2、200日目の9月25日に Vol.3 と段階的に参加商工会議所を拡充している。

期 間：2024年9月25日～2025年10月13日

オリジナルスタンプ獲得用二次元コード設置場所：

【Vol.3】①あやバグンゼスクエア（綾部商工会議所）

②近鉄生駒ケーブル 鳥居前駅（生駒商工会議所）

③御食国若狭おばま食文化館（小浜商工会議所）

④福井県立恐竜博物館（勝山商工会議所）

⑤史跡草津宿本陣（草津商工会議所）

⑥浜のうたせ（紀州有田商工会議所）

⑦紀州鉄道 西御坊駅（御坊商工会議所）

⑧洲本城跡（洲本商工会議所）

⑨野崎観音慈眼寺（大東商工会議所）

⑩高槻城公園芸術文化劇場 南館（高槻商工会議所）

⑪人道の港 敦賀ミュージウム（敦賀商工会議所）

⑫服部天神宮（豊中商工会議所）

⑬なら工藝館（奈良商工会議所）

⑭世界文化遺産・国宝 姫路城（姫路商工会議所）

⑮福井駅西口 恐竜ロボット「ティラノサウルス」（福井商工会議所）

⑯常設型「金物鷲」（メタルバード）（三木商工会議所）



EXPO2025 デジタルウォレット
アプリ画面イメージ

- ⑰道の駅 海の京都 宮津 モニュメント海燕（宮津商工会議所）
- ⑱伊勢遺跡史跡公園（守山商工会議所）
- ⑲一般社団法人八尾市観光協会（八尾市観光案内所）（八尾商工会議所）
- ⑳名鉄百貨店 ナナちゃん（名古屋商工会議所）
- ㉑みなとみらい21地区（横浜商工会議所）

※Vol.1（4月12日～）とVol.2（6月17日～）の以下15件も継続

【Vol.2】①尼崎城（尼崎商工会議所）

- ②池田城跡公園（池田商工会議所）
- ③関空展望ホール Sky View（泉佐野商工会議所）
- ④茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（茨木商工会議所）
- ⑤宇治十帖の像（宇治商工会議所）
- ⑥パナソニックスタジアム吹田（吹田商工会議所）
- ⑦旧来住家住宅（西脇商工会議所）
- ⑧彦根城（彦根商工会議所）
- ⑨舞鶴赤れんがパーク（舞鶴商工会議所）
- ⑩箕面大滝（箕面商工会議所）

【Vol.1】①大阪商工会議所ビル五代友厚像（大阪商工会議所）

- ②大津港（大津商工会議所）
- ③水間寺（貝塚商工会議所）
- ④福知山城（福知山商工会議所）
- ⑤和歌山城（和歌山商工会議所）

参加方法：

- ① EXPO 2025 デジタルウォレットのアプリをダウンロードし、「関西周遊NFTスタンプラリー」の情報にアクセスする。ページ内の二次元コードを読み取り、NFTスタンプを獲得する。
- ② 「関西周遊NFTスタンプラリー」の説明に従って、関西各地の商工会議所管内の観光施設等を訪れ、そこに設置されたNFTスタンプ獲得用の二次元コードをアプリで読み取る。
- ③ 各施設のオリジナルNFTスタンプが獲得でき、アプリ内にコレクションされる。

(4) 広報素材・共通PRツールを利用した取り組み(継続的に実施)

- ◆名刺や封筒などへの公式ロゴマーク・キャラクターの刷り込み ※
- ◆事務局内等でのポスター・チラシ・動画・デジタルサイネージ素材の掲示・投影 ※
- ◆各種会合・セミナーなどでの万博PRチラシ・動画の配布・投影 ※
- ◆機関紙、メルマガ・HP・SNS、チラシなどを活用した万博関連情報の発信・メルマガ、チラシの素材は大阪商工会議所から提供
- ◆万博参加説明会や万博関連セミナー等の共催
- ◆各会議所HPに博覧会協会HPへのリンクを掲載 など

※印のデータ、素材は、博覧会協会から提供

<参考：「2025年大阪・関西万博 機運醸成WG」の概要>

1. 設置の目的

関西商工会議所連合会に加盟する71商工会議所を対象に、会員企業の万博参加に向けた情報提供や万博への機運醸成を推進するワーキンググループを2022年度から設置。会議所間での情報共有を進め、共同事業の実施を検討している。

2. 参加商工会議所・オブザーバー

■参加商工会議所（関西商工会議所連合会加盟全71会議所）

【福井県】福井、敦賀、武生、大野、勝山、小浜、鯖江

【滋賀県】大津、長浜、彦根、近江八幡、八日市、草津、守山

【京都府】京都、舞鶴、福知山、綾部、宇治、宮津、亀岡、城陽

【大阪府】大阪、堺、東大阪、泉大津、高槻、岸和田、貝塚、茨木、吹田、八尾、豊中、池田、泉佐野、北大阪、守口門真、松原、高石、箕面、和泉、大東

【兵庫県】神戸、姫路、尼崎、明石、西宮、伊丹、西脇、相生、赤穂、三木、洲本、豊岡、高砂、龍野、加古川、小野、加西、宝塚

【奈良県】奈良、大和高田、生駒、橿原

【和歌山県】和歌山、海南、田辺、新宮、御坊、橋本、紀州有田

■オブザーバー

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、関西広域連合、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿財務局、大阪国税局、一般社団法人関西観光本部

3. 検討テーマ

- ・万博に関する継続的な情報提供
- ・企業参加を通じた機運醸成活動
- ・PR重点期間をターゲットにした共通事業実施案の検討
- ・万博開催時の各種視察団等の受け入れ検討（観光誘客、国内外のビジネスミッション等）
- ・関西の広域周遊観光促進

<参考：EXPO 2025 デジタルウォレットについて>

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会は、EXPO2025 デジタルウォレットを活用し、ブロックチェーン※によるNFTを活用して、万博開催前から万博と利用者が「つながる」事業連携サービスを実施している（詳細は、<https://expo2025-wallet.com/>）。

※ブロックチェーン：情報を記録するデータベース技術の一種で、ブロックと呼ばれる単位でデータを管理、鎖（チェーン）のように連結してデータを保管する技術。

※EXPO 2025 デジタルウォレット アプリのダウンロード



以上